

単
元
名

歴史人物新聞を作ろう

教科書出版社名 (日本文教出版)

○ 小学校 (6) 年 教科等 (社会)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・自ら選んだ歴史人物に関して、様々な観点からの知識を得て、その人物に対する理解を深める。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・意欲的に図書を使って多角的に調べ学習を行い、新聞記事として表現できる。多くの資料から必要な文献、写真や図を引用して記載できる。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…目的に応じて資料やタブレット端末で調べ、必要な情報を集める。
- 整理・分析…調べた情報をもとに、どのような記事にするのか、構想する。ロイロノートを活用して、自分の考えを整理する。
- まとめ・表現・発信…記事の内容をまとめたものを、読み手に分かりやすく表現する。学習した成果を披露する場を設定する。

○ 学習の展開 (全4時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印)

第1次 (1時間) ☆	・学習のゴールを知り、学習計画を確認する。 ・紹介したい歴史人物を選ぶ。 ・新聞に記載する観点を確認する。 ・情報収集に大切なことを一緒に確かめる。 ・紹介したい歴史人物に沿った本や社会科資料集などを活用して、調べ学習をする。
第2次 (2時間) <本時> ☆	・調べたことを観点ごとにロイロノートにまとめる。 ・追加調べ学習をする。 ・原稿を作成する。
第3次 (1時間)	・歴史新聞を発表し合い、友だちのよいところを伝え合う。

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい

資料を用いて調べ学習を行い、歴史上の人物に関心を持ち、主体的に追求する。

学習展開

時間 (分)	学習活動	●指導上の留意点
導入 5分	1. 本時のめあてをつかむ。(前時と同じ)	●前時の続きの調べ学習をすることを伝える。
10分	④ 選んだ歴史人物について調べよう。 2. 情報収集と作成に大切なことを確認する。(前時と同じ) ・調べた情報から、伝えたいものを選択する。 ・丸写しはせず、自分の言葉に置き換える。 ・誰が聞いてもわかる言葉に置き換える。 ・内容にあった写真や図を使う。 ・出典を明記する。 ・発表資料と原稿は別ものにする。 ・感想には、自分の考えを入れて書く。	●すすんで歴史人物の決定ができるよう、これまでの学習のふり返りや興味の掘り起こしを丁寧に行う。 ●新聞の基礎知識(見出し、記事内容など)を説明する。
25分	3. 歴史人物新聞を作成する。 ・ロイロノートにまとめた情報を原稿にする。 ・前時で調べたことからさらに深める。 ・新聞を完成させる。	●本で調べた情報から、必要な情報だけを短くまとめる。 ●難しい言葉はほかの人に伝わるような言葉に置き換える。
5分	4. 今日の活動をふりかえる。 ・難しかったことや苦労したことを交流する。	

図書館活用
ポイント

